



# 抗酸化研究部門

## Division of anti-Oxidant Research

〒501-1194

E-mail : [info@antioxidantres.jp](mailto:info@antioxidantres.jp)

TEL : 058-230-6548

FAX : 058-230-6549

---

## 目 次

1. 部門長あいさつ .....	173
2. 組織 .....	173
3. 教員の研究活動 .....	173
4. 学外での共同研究者 .....	174
5. メディア報道 .....	174

# 1. 部門長あいさつ

## これまでの研究から

抗酸化研究部門長 犬房 春彦

今年で抗酸化研究部門も3年目を迎えることになりました。多くの分野や先生方のご協力のおかげでこれまで研究を続けることができましたこと、この場をお借りして感謝を申し上げます。

酸化ストレスによる疾患にはガンや糖尿病、アルツハイマーや認知症といったよく耳にする疾患のほとんどが当てはまります。当部門ではビタミンとアミノ酸の配合剤を使用して、これら酸化ストレスに関する疾患をできるだけ自然な状態に近い状態で病態を発症させた動物実験を何度も重ね、体内の酸化ストレスや抗酸化ストレスの変化と共に病態の改善や予防効果を研究してきました。炎症や高血糖といった病気の状態そのものも酸化ストレスを増やすこと、飲酒後の二日酔いやX線照射等による被曝は飲酒や照射を受けたその時よりもその後から酸化ストレスが上がるということがわかっています。

ビタミンとアミノ酸の配合剤を使用したこれまでの実験結果から、適切な量と服用方法によって体内の酸化ストレスを下げることは、糖尿病やガンといった疾患であっても、薬を使用せずに病態の改善や生存率の向上をさせることができるのです。生命科学総合研究支援センターから配信する当部門の研究成果が、これからの酸化ストレス研究の基礎となり、更には多くの方の病気の予防や病態の治療に、そして最終的には高齢化社会に向かう医療の現場で抱える課題に貢献できたらと考えています。

## 2. 組織

特任教授	犬房 春彦
特任助教	楊 馥華
学術研究補佐員	原川 義哲
技能補佐員	武田 陽

## 3. 教員の研究活動

### 【学会】

(国内学会)

1. 犬房春彦 アルコール代謝から見るアルコール性臓器障害予防の可能性 酸化ストレス低減の重要性 第50回日本アルコール・薬物医学会、神戸、2015.10
2. 犬房春彦 新しい酸化ストレス低減配合剤 Twendee X による潰瘍性大腸炎治療の基礎実験. 第70回日本大腸肛門病学会、名古屋、2015.11
3. 犬房春彦 Twendee X の抗酸化活性測定. 第13回日本機能性食品医用学会、福岡、2015.12

### 【教育】

1. 犬房春彦 体の酸化を防ぐ—長生きするために— 岐阜大学シティカレッジプログラム 2015.7
2. 犬房春彦 本当に長生き出来る食生活の提案 糖尿病・高血圧・認知症の対策 岐阜大学シティカレッジプログラム 2016.1

## 4. 学外での共同研究者

京都府立医科大学	吉川敏一学長
東京大学大学院農学生命科学研究科	局博一教授
岡山大学医学部脳神経内科	阿部康二教授
中部大学応用生物学部	長谷川浩一先生
フランス科学アカデミー	クリスチャン・アマトーレ教授
レーゲンスブルグ大学	ヘルムート・デュルシュラーク博士
イギリスニューキャッスル大学	Dr. Raj N Kalaria
LYSANDO (ドイツ・レーゲンスブルク)	
ICDD (フランス・ジェメノス)	

## 5. メディア報道



WINE WHAT!?  
2015年6月5日発行



WINE WHAT!?  
2015年10月5日発行



WINE WHAT!?  
2015年12月5日発行



WINE WHAT!?  
2016年2月5日発行

## ●編集後記

毎年度発刊されている生命科学総合研究支援センター年報も、本号で第13号となりました。

本年度も年報内に記載されているように、多くの方々が当センターの設備を利用し、幅広い分野ですばらしい成果を上げられています。

これまで当センターを利用された方のみならず、これからセンターを利用してみようと考える方や自分には馴染みがないが今と違うアプローチで研究の幅を広げようと考えている方などにも、当センターの保有装置やサービスを大いに利用して頂けますよう、スタッフ一同日々精進しながらお待ちしております。

最後に、本第13号年報を作成するにあたり、限られた時間の中ご協力を頂きました皆様方に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

平成28年7月

編集担当

生命科学総合研究支援センター

機器分析分野

村山 幸一